



歴史のロマンと
密かな美味しさに感嘆する街。

歩みあるまち発見 あなづく福岡



【西鉄バス】

- 博多駅から
「博多駅交通センター1F」より29番系統「名島」下車(約30分)
- 天神から
「天神郵便局前(18)」4-21-22-23-24番系統「名島」下車(約25分)
(西鉄お客様センター: ☎0570-00-1010 <http://www.nishitetsu.co.jp/bus/>)

【地下鉄・電車】

- 福岡空港から
福岡市営地下鉄「福岡空港駅」より空港線「中洲川端駅」(約8分)で箱崎線に乗り換え
「貝塚駅」下車(約10分)、西鉄貝塚線に乗り換え「名島」下車(約2分)
- JR博多駅から
福岡市営地下鉄「博多駅」より空港線「中洲川端駅」(約3分)で箱崎線に乗り換え
「貝塚駅」下車(約10分)、西鉄貝塚線に乗り換え「名島」下車(約2分)

協力/名島商工連合会、名島校区自治協議会、福岡市東区役所総務部企画課、
国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所

目を澄ますと、
遙かな名島の物語が聞こえてくる。



① 帆柱石

第三紀に化石化したといわれる円柱形の粗長い石が9個、名島神社下の海岸に並んでいる。神功皇后の乗った船の帆柱が化石になったという言い伝えが残る指定の天然記念物。



② 名島神社

三韓遠征の無事平穩を祈願された神功皇后が祈願成就のお礼として、この地に宗像三女神をご奉遷されたのが起源。小早川隆景が名島城を築いた頃、豊臣秀吉も参詣したという。豊川稲荷神社へ続く古い鳥居も美しい。



③ 宗栄寺

名島村の新暦天の別当寺であった神宮寺の末寺だったが、明治初期の神仏分離令によって名島神社の末社がここに移された。境内には神宮寺から移転された阿彌陀仏、文殊菩薩、新造された普賢菩薩の新しい三尊像も祀られている。



④ 岩見重太郎誕生之地

名島出身の武士。武者修行で快活や七、山賊などを退治したという伝説があり、小説や演劇にもなった。一説には架空の人物ともいわれ、元・小早川家臣で、大坂夏の陣で戦死した清田幸人と同一人物とも伝えられる。



⑤ 名島橋

文禄元年(1592)、秀吉の朝鮮出兵に備え、小早川隆景の手によって名島橋が造られた。現在のアーチ橋は昭和8年に改築され、新築の万代橋と並び称され、兄弟橋となっている。



⑥ わくろ石

わくろとは博多弁でカエルのこと。その昔、水不足に悩んでいた地元の農民たちがこのカエルに似た自然石を「わくろの神」として祭り、五穀豊饒を祈願したといわれる。

⑦ 松崎神社

歴史は古く、筑前国熊土郡松崎に宝暦年間(1750年代)に建立されたという記述が残っている。昭和3年(1908)に昭和天皇即位御大典を記念して、福岡社と天神社を合併し、新殿を設けた。



⑧ 陣の越

建武元年(1334)、後醍醐天皇の南朝政に反旗を翻した足利満氏が新田義満らの軍に敗れ、九州に逃げ延びた。そして、松崎の陣の越に陣を敷いた多々良氏の合戦で足利満氏をおさめ、室町幕府の礎を築いたと伝えられる。



